

ほけんだより

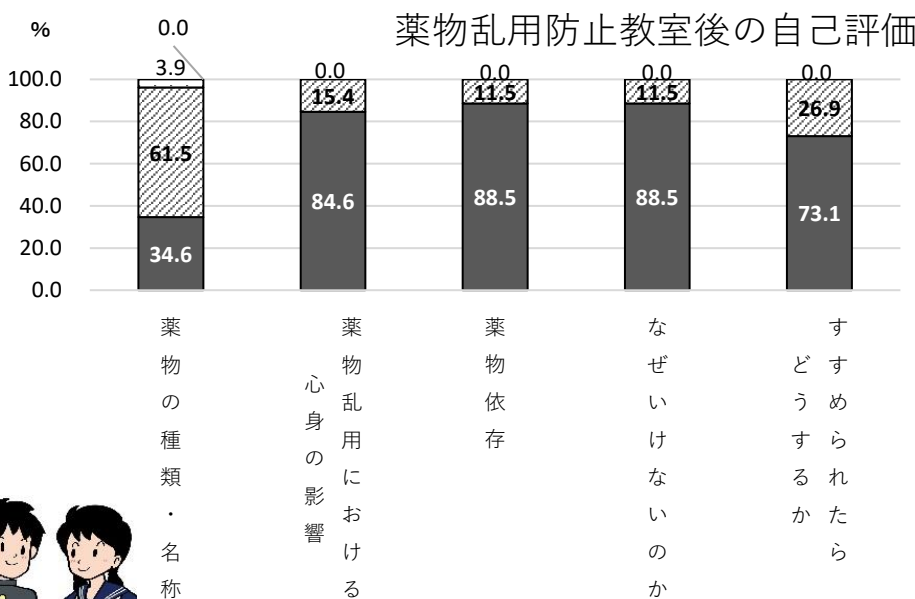
令和6年1月25日
高岡市立国吉義務教育学校
8学年

薬物乱用防止教室



1月23日(火)、富山県警察本部少年サポートセンター西部分室より三ツ井紀子氏をお招きし、8年生を対象に薬物乱用防止教室を開催しました。

違法薬物の所持や使用は、たとえ一度でも薬物乱用となります。また、体を治すための合法的な薬でも、用法を守らず間違った使い方をすれば、乱用となります。薬物には、依存性と耐性があり、薬物が効かなくなって使用が増えていく悪循環に陥ります。禁断症状の苦しみから逃れるために使用し、やめられなくなってしまいます。若い世代の大麻による検挙が増加するなど、SNS等を通して、身近に迫ってきており、正しい知識を身に付け、適切な行動選択ができるよう、教えていただきました。



- よく分かっている (断る)
- ▣ だいたい分かっている (たぶん断れる)
- あまりよく分からない (分からない)
- よく分からない (断れないかもしれない)



身近な人からの甘い言葉…
「楽しい気分になるよ」「やせられるよ」
誰にでも被害に遭う危険が潜んでいます！

【誘われても断ろう！】

- すぐにその場を離れる ● はっきり断る
 - 話題を変える ● SNSは既読無視かブロック
- むやみに人からもらった薬は大変危険！**

悪い人はいい人のふりをして
近付いてくる…

自分を守るのは自分だけ！

【薬物から自分を守るために】

- 1 薬物に関する正しい知識を身に付ける。
- 2 社会のルールを守る。
- 3 自分を大切にする。
- 4 周りに流されない勇気をもつ。

～困ったことがあったら、信頼できる大人に相談～

薬物乱用の入口となる **酒・たばこ** (ゲートウェイドラッグ) にも要注意！ **20歳未満は法律で禁止。**

～生徒の感想より～

- ・1回だけという軽い気持ちで薬物を使ってしまうと、一生やめることができなくなってしまうのだと分かりました。どんな言葉で誘われたとしても、話題を変えたり、断ったりして、「関わらない」ことが大切だと思いました。1回だけならという軽い気持ちになってはいけないと思いました。
- ・薬物を「絶対断れる」と思っていたけど、自分の親しい人から勧められたら断りにくいし、勇気が出ないと思いました。でも薬物は自分を壊して、家族や友人、周りの人にも危害を加えてしまうのだと改めて分かったので、今後注意して過ごしたいと思いました。
- ・薬物を乱用している人が増えると、家族との関係が薄れていき、さらに社会全体が薬物汚染され、治安が悪くなってしまいます。社会全体で解決しなければならぬ問題だと思いました。

一人で悩まずに、周りの大人に相談しよう

- ・ヤングテレホンコーナー 0120-873-415
- ・少年サポートセンター西部分室 0766-21-7867
- ・高岡警察署 0766-23-0110